

令和7年度 第4回長寿社会開発センター研究セミナー〈オンデマンド配信〉 のご案内

この度、長寿社会開発センターでは、「難病ケアマネジメント」をメインテーマとした研究セミナーを実施（YouTube/オンデマンド配信）することといたしました。

受講を希望される方は、以下をご確認のうえお申し込みください。

なお、本セミナーお申し込み者に限り、公益財団法人 さわやか福祉財団の「本人らしい生活をするために どうする？ 地域との連携 II」の動画を同時配信いたします。詳細は、3 枚目をご確認ください。

テ ー マ：「難病支援の考え方と支援の視点～難病ケアマネジメントの過程を学ぶ～」

【約 90 分/予定】

講 師：原口 道子氏（公益財団法人 東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター
難病ケア看護ユニット 主席研究員）

講 師 紹 介：

千葉大学看護学部卒業後、東京医科歯科大学医学部附属病院、埼玉県立大学短期大学部に勤務。博士課程修了後、難病情報センター、日本訪問看護財団等の非常勤勤務を経て、東京都医学総合研究所に勤務（現職）。

厚生労働省難治性疾患政策研究事業における分担研究として、難病患者等ホームヘルパー養成研修や難病のケアマネジメントなど、人材育成・教材開発等に従事する。神経難病専門病院との共同研究による ALS 外来支援、在宅医療安全、医療的ケア支援に関する研究等を行う。

＜その他の活動＞

日本難病看護学会理事、日本在宅看護学会 編集委員 ほか

研修目的・研修概要：

難病を取り巻く状況は、この 10 年で大きく変化しています。

平成 25（2013）年 4 月、「障害者総合支援法」に定める障害児・者の対象に難病等が加わり、障害福祉サービス、相談支援等の対象になりました。

さらに、平成 27（2015）年には、「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行され、難病の患者に対する医療費助成の確立のほか、基本方針の策定、調査及び研究の推進、療養生活環境整備事業の実施等の措置が講じられるようになりました。

また、令和 6（2024）年度からは、介護支援専門員の法定研修等に、「難病ケアマネジメント」が盛り込まれました。

令和 5 年度末現在の特定医療費（指定難病）受給者証所持者総数は 1,086,579 人にのぼり、そのうち、75 歳以上は 301,823 人で全体の 27.8%を占め、70 歳以上でみると全体の 39.7%を占めています。在宅における医療・介護連携が今まで以上に求められる中、地域包括支援センターやケアマネジャーが難病のある人・利用者と出会う機会は増えていくことが予想されます。

難病のある人の生活を支援する法制度として、難病法のほか、医療保険、介護保険、障害者総合支援法などがありますが、難病のある人のケアマネジメントでは、各制度をタイムリーに活用し、それぞれの機関との多職種連携をスムーズに行う必要があります。

しかしながら、難病といっても疾病によって症状や経過は多様であり、また、同じ疾病であっても個人差があります。また、難病のある人のみならず、家族の生活への配慮等、高いマネジメント力が難病ケアマネジメントでは求められます。

本セミナーでは、難病に関する法律の概論、他法、他制度を理解し、さらに、難病のケアマネジメントの過程の学びを深め、難病のある人への支援の視点など、事例を通して学びます。

受講対象者：

- ・ 居宅介護支援事業所に勤務している方
- ・ 地域包括支援センターに勤務している方
- ・ 在宅サービス事業所に勤務している方
- ・ 訪問看護ステーションに勤務している方
- ・ 基幹相談支援センターに勤務している方
- ・ 都道府県・市区町村職員
- ・ その他本テーマに興味・関心のある方

受講料：無料

実施方法：オンデマンド配信（YouTube による限定公開。期間中何度でも視聴可能）

配信期間：令和8年2月2日（月）10時～3月4日（水）17時迄

申込期間・申込方法：

- ・ 申込期間は、令和7年12月17日（水）10時～令和8年1月22日（木）17時迄です。

長寿社会開発センターのホームページまたはQRコードにアクセスし、お申し込みください。

URL：<https://nenrin.or.jp/research/symposium.html>



※上記のURLにアクセスしてもお申し込みサイトが表示されない場合は、

サイトページの更新、またはブラウザのキャッシュクリアをお試しください。

- ・ お申し込みの際はメールアドレスが必要です（※送信するメールにPDFを添付する場合があります。添付メールが受信可能なメールアドレスでお申し込みください）。
- ・ お申し込みの際は、メールアドレスに誤りがないか必ずご確認ください。
- ・ 事業所内で受講（視聴）を希望する方が複数いる場合は、それぞれ（各自）でのお申し込みが必要です（同じメールアドレスでのお申し込みは可能です）。お一人のお申し込みで複数人が受講することはご遠慮ください。
- ・ 個人での受講（視聴）が原則です。端末のご用意がないなどやむを得ない事情がある場合は、複数名での受講（視聴）も可能とします。ただし、全受講（視聴）者のお申し込みが必要です。
- ・ お申し込み後の自動返信メールはありません。
- ・ 視聴URL等は、令和8年2月2日（月）10時にメールでご案内します。午後になってもメールが届かない場合は、事務局迄ご連絡ください。
- ・ 保険者主催の研修の一環として視聴を希望される場合は、事前にご相談ください。検討させていただきます。なお、研修として活用いただける期間は、配信期間内に限ります。

注意事項：

- ・ 申込者以外の第三者への視聴（受講）URLや研修資料等の転送・共有等を固く禁じます。
- ・ 動画視聴（受講）にあたって必要となるパソコン等の端末、インターネット回線等必要な設備は受講者ご自身でご準備ください。
- ・ データ通信にかかる費用は、受講者負担となります。
- ・ 本セミナーの録画・録音、撮影（スクリーンショット含む）は固くお断りします。
- ・ 本セミナー内容の盗用やSNSへの投稿が発覚次第、著作権・肖像権侵害として対処いたします。
- ・ 動作環境の確認・詳細についてのお問い合わせには、対応いたしかねます。
- ・ 受講証明書や修了証等の発行はございません。

主催・問い合わせ先：

一般財団法人 長寿社会開発センター 調査研究開発部（田中・古里（ふるさと））

〒105-8446 東京都港区西新橋3-3-1 KDX 西新橋ビル6階

TEL：03-5470-6767 FAX：03-5470-6763 E-mail：kenkyuu2@nenrin.or.jp

「本人らしい生活をするために どうする？ 地域との連携 II」

のご案内

令和 7 年度第 4 回長寿社会開発センター研究セミナーのお申し込み者に限り、以下の動画を無料で視聴することができます。

第 4 回長寿社会開発センター研究セミナーの視聴 URL をご案内する際（2 月 2 日（月））に、併せて「本人らしい生活をするために どうする？ 地域との連携 II」の視聴 URL をご連絡いたします。

また、本動画の視聴に当たっての注意事項は、2 枚目の注意事項と同じお取り扱いとなります。

テーマ：「本人らしい生活をするために どうする？ 地域との連携 II」【約 30 分/予定】

講 師：秋山 正子氏（暮らしの保健室室長/認定 NPO 法人マギーズ東京センター長）

受講料：無料

実施方法：オンデマンド配信（YouTube による限定公開。期間中何度でも視聴可能）

配信期間：令和 8 年 2 月 2 日（月）10 時 ～ 3 月 4 日（水）17 時迄

内容に関する問い合わせ先：公益財団法人 さわやか福祉財団（上田）

TEL：03-5470-7751 FAX：03-5470-7755

E-mail：seminar@sawayakazaidan.or.jp

申込に関する問い合わせ先：一般財団法人 長寿社会開発センター 調査研究開発部（田中・古里）

TEL：03-5470-6767 FAX：03-5470-6763

E-mail：kenkyuu2@nenrin.or.jp